



建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2)

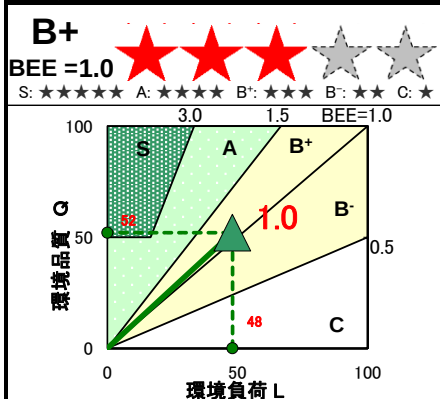
1-1 建物概要

建物名称	(仮称)大阪市福島区海老江1丁目		
建設地	福島区海老江1丁目		
建築用途	共同住宅		
建築主	阪急阪神不動産(株)		
設計者	(株)アクセス都市設計		
敷地面積	567.34	m ²	
建築面積	245.47	m ²	
延床面積	2,021.89	m ²	
構造/階数	RC造	/	地上10階
完了年(予定)	2022年3月		

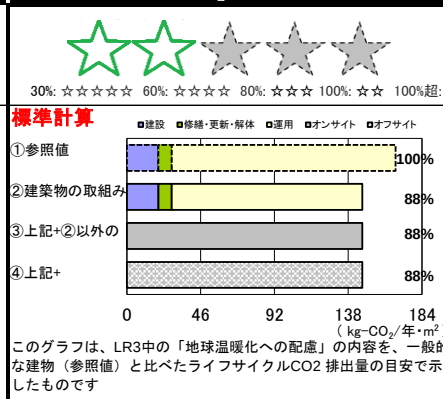
1-2 外観



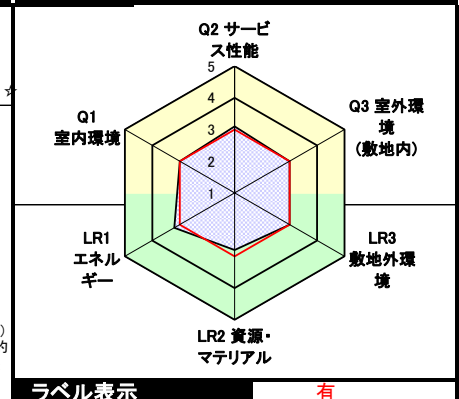
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



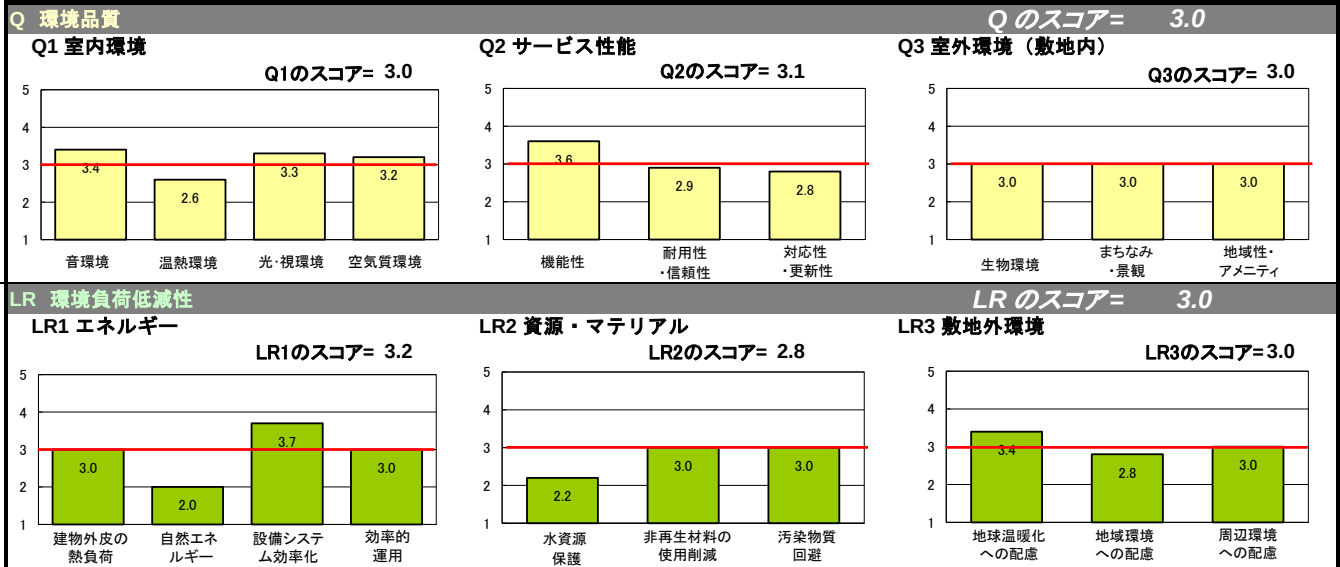
2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合 建物利用者の快適な生活環境を維持するため遮音性を高めており、リサイクル資材の使用により資源の有効利用に配慮した		その他 特になし
Q1 室内環境 昼光率 居室部分5.5% 確保し室内環境向上に配慮した	Q2 サービス性能 CAT6を採用し、入居者の利便性に配慮した	Q3 室外環境(敷地内) 緑地、日陰の形成に努めることで環境負荷低減に配慮した
LR1 エネルギー BEIm=0.93	LR2 資源・マテリアル 躯体と仕上げ材が容易に分別可能	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率=88%

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.0

ラベル表示



環境性能	評価点
(1)CO2削減	3.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮 3.4
配慮事項	LCCO2排出率88%

環境性能	評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策	3.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能	概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出 3.0
Q3 / 3 / 3.2/	敷地内温熱環境の向上 3.0
LR3/ 2 / 2.2/	温熱環境悪化の改善 3.0
配慮事項	できる限り緑地を設けた

環境性能	評価点
(3)建物の断熱性	3.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制 3.0
配慮事項	特になし

環境性能	評価点
(4)エネルギー削減	4.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化 3.7
配慮事項	BEIm=0.93

省エネルギー基準計算結果

基準
適合状況

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4（相当）以上、非住宅部分が1.0以下であること
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること（新築時）
 （基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること）

外皮性能	住宅部分（品確法等級） 等級3 (相当)	非住宅部分[BPI][BPI _m] -	
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEI _m] 0.93	住宅部分[BEI] 0.93	非住宅部分[BEI][BEI _m] -

1 設備導入の検討

② 日照条件の検討

[illegible]

ア 設置可能面積等	(29.6) m ² 方位 (真南) 設置角度 (30) 度
イ 設置可能太陽光パネル面積	(11.8) m ²
ウ 設置可能容量	(1.8) kw
エ 利用設備に対する荷重対策	☐ あり ☒ なし
オ 設置に備えた対応	☒ なし ☐ あり (例：設備用基礎の設置) ()

検討結果 ☐ 導入する →具体的な検討を行い、実際に設置する設備概要を 2 に記入
☒ 導入しない

導入を見送る理由（複数選択可）

☐ 日照が確保できない

☒ 躯体が荷重に対応できていない

☐ 敷地内に設置する場所を確保できない

☐ 費用負担が大きい

☐ 本計画では見送るが、将来対応可能とする

☐ その他（ ）

ア 太陽光パネル面積	() m ²
イ 発電容量	() kW

注 2ア 太陽光パネル面積が、1③イ 設置可能太陽光パネル面積と大きく異なる場合、備考欄にその理由を記入してください。

再生可能エネルギー利用設備導入検討シート（太陽熱利用設備用）

1 設備導入の検討

① 周辺環境の把握

② 日照条件の検討

ア 検討対象とする場所	☒ 屋根部 地上高さ（ 29 ） m ☐ 地上部（ ☐ 空地部分 ☐ その他 ） ☐ 壁面 ☐ その他（ ）															
イ アの周囲における日射遮蔽物	☒ なし ☐ あり <table border="1"> <tr><td>方位（ ）</td><td>高さ（約 ） m</td><td>水平距離（約 ） m</td></tr> <tr><td>方位（ ）</td><td>高さ（約 ） m</td><td>水平距離（約 ） m</td></tr> <tr><td>方位（ ）</td><td>高さ（約 ） m</td><td>水平距離（約 ） m</td></tr> <tr><td>方位（ ）</td><td>高さ（約 ） m</td><td>水平距離（約 ） m</td></tr> <tr><td>方位（ ）</td><td>高さ（約 ） m</td><td>水平距離（約 ） m</td></tr> </table>	方位（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m	方位（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m	方位（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m	方位（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m	方位（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m
方位（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m														
方位（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m														
方位（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m														
方位（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m														
方位（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m														
ウ 日照の確保（冬至）	☒ 十分 ☐ 不十分															

③ 熱需要の条件等の検討

ア 建築物の用途	共同住宅
イ 熱需要対象用途	☐ 冷房 ☐ 暖房 ☒ 給湯 ☐ その他（ ）
ウ 設置可能面積	（ 29.6 ） m ²
エ 概算年間熱利用量	（ 64,439 ） MJ/年
オ 利用設備に対する荷重対策	☐ あり ☒ なし
カ 設置に備えた対応	☒ なし ☐ あり （例：設備用基礎の設置） （ ）

④ 導入判断

検討結果 ☐ 導入する →具体的な検討を行い、実際に設置する設備概要を 2 に記入

☒ 導入しない

導入を見送る理由（複数選択可）

- ☐ 日照が確保できない
☐ 年間を通じて安定した熱需要がない
☒ 躯体が荷重に対応できていない
☐ 敷地内に設置する場所を確保できない
☐ 費用負担が大きい
☐ 本計画では見送るが、将来対応可能とする
☐ その他（ ）

2 導入する設備の概要

ア 集熱パネル面積	（ ） m ²
イ 概算年間熱利用量	（ ） MJ/年
ウ 熱需要対象用途	☐ 冷房 ☐ 暖房 ☐ 給湯 ☐ その他（ ）

備考